

営大通信

第 43 号

令和元年 6 月 28 日

発行 青森県営農高等学校興農会
会長 小川 広徳
青森県営農高等学校後援会
会長 浅利 豪
青森県上北郡七戸町字大沢48-8
TEL 0176-62-3111

校長あいさつ



校長
館 田 朋 彦

この春、定年退職された秋本校長を継ぎ、校長を命じられた館田と申します。営農高等学校は初めての勤務ですが、柔軟な心を持つエネルギッシュな学生と接することに新鮮な喜びを感じております。

さて、現在、青森県の農業・農村では、人口減少の進行に伴う労働力不足や地域コミュニティの衰退、国内市場の縮小や消費構造の変化など様々な課題に直面しています。また、経済のグローバル化の影響により国境を越えた産地間競争の激化も懸念されます。

これらの状況に対応していくためには、これまで以上に収益力を向上させ、高い経営力を持った人財や、農業による地域共生社会を支える人財の育成が必要となっています。

営農高等学校では、このような情勢を踏まえ、

「地域農業の中核的担い手となり得る農業経営者及び農業を支える多様な人財の養成」を教育目標とし、高度な農業技術と管理能力、国際化や情報化など社会情勢の変化に対応できる知識と技能、マーケットインの視点での農畜産物の生産・販売、6次産業化などの担い手の育成に努めているところであり、これまでの農場実習等に加えて、ICT、マーケティングやGAPのほか、農福連携などにも対応したカリキュラムの充実・強化と施設等の整備に計画的に取り組んでいます。来年度は、6次産業化コースの開設と畜産課程のコース再編に取り組むこととしています。

本校に入校した学生が、本校の校訓である「実践」力を持ち、「創造」性を発揮し、「友情」を育むことができる人として、「今を超える農業」、そして地域内で連携し支え合う「つなぐ農業」を実践できる令和の時代を担う人財へと成長できるよう、教職員一丸となって指導して参りますので、保護者並びに関係者各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

後援会長あいさつ



後援会長
浅 利 豪

この度、営農高等学校の後援会長を務めさせていただくことになりました。農業の担い手不足が叫ばれる中、本年度も若さと情熱にあふれた37名の新生を迎えることができ、誠に喜ばしい限りです。

後援会としても、次代の本県農業を担う「宝」である学生たちを温かく見守りながら、教職員との連絡を密にして営農高等学校を応援していきたいと思っておりますので、皆様の御支援、御協力のほどよろしくお願いいたします。

平成31年度入校式

平成31年4月9日、第40回青森県営農大
学校入校式が行われ、青山副知事をはじめ、
来賓、保護者が見守る中、畑作園芸課程20名、
果樹課程11名、畜産課程6名、総勢37名の
入校生がこの日を迎えました。

館田校長は式辞の中で、しっかりとした目
的意識と「自ら学ぶ」という気概を持って勉
学に励み、実習や自治会活動を通じて、自分
とは異なる多様な価値観や考え方の人たちに



校長あいさつ

業を担う人財へ
と成長してほしいと激励しまし
た。

入校生を代表
し、畑作園芸課
程1年の加藤雅
也さんが、「農作

業、資格取得のための講習、農家実習など経
営に必要な技術や知識
を皆で学び、2年後に
は確実に個々の目標を
達成することを約束し
ます」と誓いの言葉を
述べました。



入校生代表の加藤さん



在校生代表の仁和会長

一方、在校生を代表
して、学生自治会長で
ある畑作園芸課程2年
の仁和俊也さんが、「い
ざ入校してみると、昨
年一年間はとても楽し
かった。少しずつ学校
に慣れて、一緒に充実
した楽しい学校生活を
送っていきましょう」
と歓迎しました。

あおもり農力向上シャトル研修開講

新規就農を目指すUターン者や他産業経験者等を対象とした「あおもり農力向上シャトル研修」の開講式を4月26日に行いました。

本研修は、就農予定地の先進農家で研修を進めながら、営大で行われる講義や機械研修等を受講し、実践的な農業技術や作物の基礎的知識を身につける「シャトルコース」と、新規就農者や一般の農業者等が営大での講義を受講し基礎的知識を学び直す「リカレントコース」の2つのコースからなっています。

本年は4名の研修生がシャトルコース、6名の研修生がリカレントコースで研修を行っています。シャトルコースの研修生は来年2月までの10か月間、農家研修や講義をとおして、様々な経験と知識を積み重ね、新規就農の夢の実現に近付けさせていきます。



シャトル研修開講式



月2回開催の野菜1DAYセミナー

祝 軟式野球2連覇!東日本農業大学校等親善球技大会

5月30・31日の2日間、八戸市において、本校が開催担当校を務めた「東日本農業大学校等親善球技大会」が開催されました。

男子は南郷野球場で軟式野球に、女子は南郷体育館でバレーボール競技に参加し、全校応援で試合に臨みました。

男子の軟式野球は、一次リーグを順調に勝ち抜き決勝に進出。決勝では岩手農大と対戦しました。本校は初回から打線が爆発し2回までに大量6点をリードしましたが、その後は、点差を徐々に詰められる展開に。最終回もランナーをためてピンチとなりましたが、6対3で逃げ切り、見事2連覇を達成しました。

一方、女子バレーボールは、経験者がほとんどいないなか、連日の練習の成果を発揮して宮城農大から1セットを先取するなど健闘しましたが、残念ながら勝利には至りませんでした。

また、30日の夜には、宿泊場所のグランドサンピア八戸において、本校学生自治会主催の交流会を開催し、参加各校の学校紹介やビンゴ大会が行われました。本校学生の工夫を凝らした進行と司会者の絶妙なトークで大いに盛り上がり、交流を深めていました。

なお、最終日の閉会式終了直後に豪雨に見舞われましたが、試合終了まで我慢してくれた天気には感謝します。



男子軟式野球 猛打爆発



勝利を目指す女子バレーボール



大盛況の交流会

「平成ピザ」 vs 「令和ピザ」

5月12日（日）、七戸町中央商店街で開催された「第8回ピザカーニバルin七戸」。七戸町の恒例行事として定着したこの華やかな食のイベントに、年に一度だけ結成される「営大ピザ部」が今年も出店しました。

今回は、「平成チーム」の「アスパラベーコンピザ」VS「令和チーム」の「フルーツピザ」というコンセプトでの対決形式をとりました。

結果は「平成チーム」の圧勝! 「平成チーム」のテントには、開始当初から長蛇の列ができていましたが、材料の見積りが甘かったことと、段取りが悪かったことが重なり、準備したピザを完売することはできませんでした。

参加した1年生からは、「来年はこういうピザを作りたい」等の意欲的な意見が出され、次年度へ向けて雪辱を誓いました。



販売前から長蛇の列



上手に焼けました!

6月28日「ダイちゃんの店」オープン

営大では、学生が消費者との対面販売を通じて農産物直売のノウハウを身につけることを目的に校内定期直売実習を行っており、本年で7年目になります。自ら生産した農産物の魅力を伝え、消費者の生の声を聞くことが、学生の学習意欲向上にもつながっています。

本年は農産物直売所「ダイちゃんの店」が、6月28日（金）からオープンします。販売品目は、きゅうり、にんにく、サクランボ、花を始め、夏に向けてミニトマト、ピーマン、えだまめ、ブルーベリーなどその数も増えていきます。学生も地域のお客様に親しまれるよう、より魅力的な直売所を目指し、張り切っています。

青空の下、緑のグラウンドを背に、直売実習にいそしむ元気な学生の姿を御覧いただくとともに、当校自慢の野菜や果物をぜひ御賞味ください。



品揃えは十分です

農産物直売所「ダイちゃんの店」

販売日 6/28、7/12、8/2、9/6、9/20、10/4、11/29（いずれも金曜日、計7回）

営業時間 13:15～14:45

場所 正面玄関前（雨天時は体育館等）

※販売日は営大ホームページで確認できます。

(<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/einodai/daichan.html>)



毎回大盛況です



学生によるレジ打ち



営大産サクランボ

※写真はいずれも昨年の様子です。

新任職員紹介

校長	総務課		教務研修課		農産園芸課		畜産課
							
館田 朋彦	小山内 洸介	蛭澤 由佳	渡邊 智雄	伊藤 和彦	佐々木 和也	近藤 伸子	佐藤 郷子

～転出・退職～

校長：秋本 実
 総務課：菊池 嘉優
 教務研修課：腰巡 好之、落合 賢之
 農産園芸課：磯辺 慶、鈴木 聡
 畜産課：川畑 清香

～今後の行事予定～

[8月25日(日)]
 オープンキャンパス
 [10月26日(土)・27日(日)]
 営大祭(オープンキャンパス併催)

